

# 平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立 本通小学校 学級数 14

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標「学ぶ子」 ～自ら学び，自ら考える子の育成～

A 各教科・領域等における系統性や，他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって，学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

## 取組の概要

「家庭学習の推進」「本通小学校長期休業中学習サポート」

### 1 取組のきっかけ

本校では平成20年度より，確かな学力を身に付けさせるためのひとつの手立てとして，学習習慣をしっかりと身に付けさせる取組を進めています。その取組の主なものとして家庭学習が挙げられますが，家庭への働きかけなど，学力向上委員会で検討しながら改善を加え続けてきました。

また，保護者から長期休業中の学習支援に対し，何かしらの取組の要望が強かったことを受け，昨年度の学校評価会議において取組を具体化していこうと方向性が決まりました。これを受け学力向上委員会で検討し，今年度の夏季休業から実際に行うこととなりました。

### 2 取組の位置付け

教務・生涯学習部が中心となり，必要に応じて学力向上委員会を開き，検討しています。委員会で決めた内容を教務・生涯学習部が中心となって取り組んでいます。

### 3 取組の方法

「家庭学習の推進」

- ・家庭学習の手引きの配布

前年度の反省を受け，改善したものを4月参観日にて保護者に説明しながら配布します。これにあわせ，各学級において進んで取り組めるよう，工夫しながら取り組んでいます。

「本通小学校長期休業中学習サポート」

- ・長期休業開始の数日間，学校図書室を自学自習できる場として児童に提供します。夏・冬季休業はそれぞれ2日間行いました。子どもの人数に合わせて教員がつき，子どもたちの質問等に対応しました。

## 取組の成果と課題等

### ○ 取組の成果

#### 「家庭学習の推進」

- ・ 学習習慣をしっかりと身に付けさせるために、家庭学習の手引きを配布しながら懇談等での呼びかけを行い、子ども、保護者の家庭学習に対する意識を高めてきました。宿題以外の学習に工夫しながら取り組む子どもたちが確実に増えました。内容も学年に応じたものが多く見られます。懇談等でも家庭学習の話題が増え、関心が高まっていることが確認されています。家庭の判断ではあるが、市販のドリルを購入したり塾に通ったりする児童が半数を超えるくらいに増えてきました。
- ・ 長期休業中の学習サポートについて  
今年度より長期休業中に自学自習の場を提供するという目的で「学習サポート」を実施しています。夏休み延べ109名、冬休み延べ72名の参加がありました。年末に行った保護者アンケートでも高評価を得ています。しかしながら、実施日を延ばしてほしいという声も聞かれました。今後、検討を重ねて改善できるところは改善していくということで確認しています。

### ○ 教育課程検証の方法

#### ・ 教育課程検証の方法

各学級の授業時数については日常的に集計しています。（毎週～毎月）

また、学校評価において、年間指導計画、授業時数、授業研究、教員の授業評価、児童の育ちなどの側面から検討し改善点などを共通理解しました。年間指導計画については、改善点を朱書きするなどし記録しておくよう係から呼びかけをしています。大きな改善点はありませんでしたが、小変更は確認されました。